土浦発 (147)

の低湿地遺跡 塚周辺

画しました。 囲外における5か年の確認調査を計 で、上高津貝塚ふるさと歴史の広場 は分かっていませんでした。そこ 貝塚周辺における低湿地遺跡の有無 多くの調査が行われてきましたが、 塚ではこれまで、台地上の貝塚では な知見を提供しています。上高津貝 動や木工、漆工を理解する上で重要 れています。こうした低湿地遺跡で 付随する低湿地遺跡が数多く調査さ す。ところで近年、台地上の集落に の広場として保存・活用されていま 館からなる上高津貝塚ふるさと歴史 き復元整備された史跡と、考古資料 沿岸における大規模貝塚のひとつで に高めることを目指し、史跡指定範 津貝塚の歴史的・文化的価値をさら では、学術的な再検討によって上高 ていることから、縄文時代の生業活 木製の遺物や漆器が腐らずに残され 国指定史跡上高津貝塚は、霞ヶ浦 台地上の遺跡では腐ってしまう 現在は、発掘調査の成果に基づ

と古環境の復元を目的として、28地 貝塚周辺における低湿地遺跡の探索 初年度にあたる平成26年度には、

> 調査を実施しました。 おいて、地表下約3・5メートルか その結果、遺跡の東に入り込む谷に として、平成27、28年度に試掘確認 と供給源を明らかにすることを目的 れました。そこで、この砂層の性格 ら複数の土器片を含む砂層が検出さ 積物)を取り出して調べることです。 に筒状の器具を突き刺し、地層(堆 ました。ボーリング調査とは、 点におけるボーリング調査を実施し 地中

砂層は谷底を西から東へと分布して 確認調査によって、土器片を含む

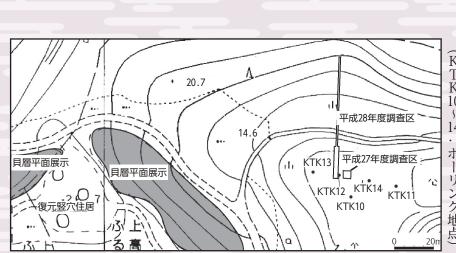
> ており、 含まれている土器は表面がすり減っ いることが推測できました。 れることで、できたものと考えられ 台地構成層の砂と一緒に土器が流さ ます。この砂層は、大雨などの際に、 流されてきたことがわかり 。砂層に

す。貝殻が含まれていないこと、貝 砂と一緒に流されていることから、 塚よりも低い場所に露出するはずの 上高津貝塚が営まれた時期と同じで から晩期にかけての土器が中心で、 低湿地遺跡が存在していた可能性が できませんでしたが、谷底低地のど か。今回の調査では残念ながら発見 は考えにくいのではないでしょう 台地上の貝塚が流されてきたものと こかに縄文人の活動の場、 すなわち

れています。 浦市立博物館紀要』第27号に掲載さ 館と市立博物館で販売している『土 の詳しい結果については、 る予定です。なお、ボーリング調査 業を進め、 今年度は、出土した土器の整理作 発掘調査報告書を刊行す 考古資料

▲低地で見つかった縄文土器

あります。 含まれている土器片は、 後期中葉



間上高津貝塚ふるさと歴史の広場 826·7111

◆調査区の位置

KTK10 \ 14 :ボーリング地点)